

映画カレンダー

かずくん

《 2010年 10 月中旬 ~ 2011年 1 月中旬 》

●舞台挨拶有り ◎ポイント招待 ★レディースデイ ○試写会 ☆ファーストディ

1	10月 18日	ヌードの夜 愛は惜しみなく奪う	監督：石井隆 出演：竹中直人、佐藤寛子、大竹しのぶ	川崎チネチッタ ◎
2	21日	桜田門外の変	監督：佐藤純彌 原作吉村昭 出演：大沢たかお、長谷川京子、柄本明	川崎チネチッタ
3	同	ナイト&デイ	監督：ジェームズ・マンゴールド 出演：トム・クルーズ、キャメロン・ディアス	109 シネマズ川崎
4	22日	雷桜	監督：廣木隆一 原作：宇佐江真里 出演：岡田将生、蒼井優、小出恵介	川崎チネチッタ
5	23日	美女と野獣	監督：ゲイリー・トゥルースディル 声優：ペイジ・オハラ、ロビー・ベンソン	TOHO シネマズ川崎
6	25日	隠された日記 母たち、娘たち	監督：ジュリー・ロペス=クルヴァル 出演：カトリーヌ・ドヌーヴ、マリナ・ハンズ	川崎チネチッタ
7	27日	エクスペンダブルズ	監督：シルベスター・スタローン 出演：シルベスター・スタローン、ジェイソン・ステッサム	TOHO シネマズ川崎 ★
8	28日	国民代表！?	監督：キム・ヨンファ 出演：ハ・ジョンウ、ソン・ドンイル、キム・シソク	109 シネマズ川崎
9	29日	遠距離恋愛 彼女の決断	監督：ナネット・バーンスタイン 出演：ドリュー・バリモア、ジャスティン・ロング	109 シネマズ川崎 ◎
10	31日	S P 野望編	監督：波多野貴文 出演：岡田准一、真木よう子、堤真一	川崎チネチッタ
11	11月 1日	インシミテル 7日間のデスゲーム	監督：中田秀夫 出演：藤原竜也、綾瀬はるか、石原さとみ	TOHO シネマズ川崎 ☆
12	同	マザーウォーター	監督：松本佳奈 出演：小林聡美、小泉今日子、加瀬亮	川崎チネチッタ ☆
13	6日	エクспリス トワイラート・サーガ	監督：デヴィッド・スレイド 出演：クリスティン・シュワート、ロバート・パティンソン	TOHO シネマズ川崎
14	8日	義兄弟	監督：チャン・フン 出演：ソン・ガンホ、カン・ドンウォン	109 シネマズ川崎

15	10日	ノーウェアボーイ ひとりぼっちのあいつ	監督：サム・テイラー=ウッド 出演：アaron・ジョンソン、クリスティン・スコット・トーマス	TOHO シネマズ川崎 ★
16	13日	ゴースト もう一度抱きしめたい	監督：大谷太郎 出演：松嶋奈々子、ソン・スンホン	109 シネマズ川崎
17	18日	ラスト・ソルジャー	監督：ディン・シェン 出演：ジャッキー・チェン、ワン・リーホン	TOHO シネマズ川崎
18	20日	ハリー・ポッター と死の秘宝 Part 1	監督：デヴィッド・イェーツ 出演：ダニエル・ラドクリフ、ルパート・グリン	川崎チネチッタ
19	22日	あたしんち	監督：高橋渉 原作：けらえいこ 出演：渡辺久美子、折笠富美子	TOHO シネマズ川崎
20	25日	行きずりの街	監督：阪本順治 原作：志水辰夫 出演：仲村トオル、小西真奈美、南沢奈央	川崎チネチッタ
21	27日	ゲゲゲの女房	監督：鈴木卓爾 原作：武良布枝 出演：吹石一恵、宮藤官九郎、坂井真紀	川崎チネチッタ
22	29日	ディブレイカー	監督：マイケル・スピエリック 出演：イーサン・ホーク、ウィリアム・デフォー	109 シネマズ川崎
23	12月 2日	シュレック フォーエバー	監督：マイク・ミッチェル 出演：濱田雅功、藤原紀香、山寺宏一	よみうりホール ○
24	4日	キス&キル	監督：ロバート・ルケティック 出演：キャサリン・ハイグル、アシュトン・カッチャー	TOHO シネマズ川崎 ◎
25	5日	レオニー	監督：松井久子 出演：エミリー・モーティマー、中村獅童	TOHO シネマズ川崎
26	同	SpaceBattelShip ヤマト	監督：山崎貴 出演：木村拓哉、黒木メイサ	TOHO シネマズ川崎
27	8日	酔いがさめたら うちに帰ろう	監督：東陽一 原作：鴨志田穰 出演：浅野忠信、永作博美	TOHO シネマズ川崎 ★
28	11日	ノルウェイの森	監督：トラン・アン・ユン 原作；村上春樹 出演：松山ケンイチ、菊池凜子、水原希子	TOHO シネマズ川崎
29	13日	武士の家計簿	監督：森田芳光 出演：堺雅人、仲間由紀恵、松坂慶子	TOHO シネマズ川崎
30	18日	最後の忠臣蔵	監督：杉田成道 出演：役所広司	109 シネマズ川崎 ◎
31	24日	バーレスク	監督：スティーブ・アンティン 出演：クリスティーナ・アギレラ、シェール	109 シネマズ川崎

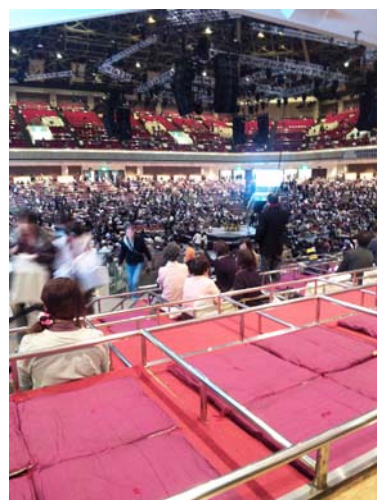
32	27日	チェブラーシカ	監督：中村誠 出演：大橋のぞみ、北乃きい	TOHO シネマズ川崎 フリーパス※
33	29日	キック・アス	監督：マシュー・ヴォーン 出演：アーロン・ジョンソン、ニコラス・ケイジ	
34	1月 10日	アンストッパブル	監督：トニー・スコット 出演：デンゼル・ワシントン、クリス・パイン	
35	11日	相棒 劇場版Ⅱ	監督：和泉聖治 出演：水谷豊、及川光博、小西真奈美	
36	15日	僕と妻の 1778の物語	監督：星護 原作：眉村卓 出演：草薙剛、竹内結子、谷原章介	
37	20日	太平洋の奇跡 フォックスと呼ばれた男	監督：平山秀幸 出演：竹野内豊、ショーン・マクゴウアン	九段会館 ○
38	21日	ソーシャル・ ネットワーク	監督：デヴィッド・フィンチャー 出演：ジェシー・アイゼンバーグ、アンドリュー・ガーフィールド	TOHO シネマズ川崎 フリーパス
39	同	愛する人	監督：ロドリゴ・ガルシア 出演：ナオミ・ワッツ、アネット・ベニング	109 シネマズ川崎
40	22日	完全なる報復	監督：F・ゲイリー・グレイ 出演：ジェラルド・バトラー、ジェイミー・フォックス	TOHO シネマズ川崎 フリーパス

※12月27日～1月26日 TOHO シネマズ1カ月フリーパス

12月28日、この日はさだまさしの「国技館・ソロプレミアムコンサート」。久しぶりにCaccoさんと一緒です。それが悪かったのかなんなのか、行く途中で総武線の快速で人身事故・・・わたしたちはやっとな秋葉原に着いたところ。なんとかノロノロ動いた総武線でひとつ先の蔵前まで行き、そこから歩いて地下鉄に乗り、またひと駅・・・。そんな事情を考慮して20分遅れで始まったコンサートは、ギター一つとキーボードがたまに参加するシンプルなもの。まず正面にさだまさし登場、それから→西→向正面→東→再び正面の順で、さださんがくるくる動いてみんなに顔を見せます。



この日はTICAさんもお友達4人と参加。TICAさんは最近めっきりさだファンになったようでNHKの深夜番組も熱心にみているらしいです。健さん、日出彦さんからも「さだ話」をよく聞くし、どうやら最近さだまさし再びブレイクしているみたいで、長年のファンとしてはとてもうれしい。→こちらがマス席の写真です。4人で座るには少々きつい感じもしますが、国技館の雰囲気が楽しめます。



帰りはTICAさんとも合流して、ちゃんこ居酒屋へ。店内に土俵があつて、ますます国技館気分が盛り上がりました！

《今月の1本：SP野望編》

さて、最近仲良しのTICA、Cacco, かずの3人ですが、SP野望編も皆見ているので感想を聞いてみました。といっても一緒に行ったわけではないのですが。今度はみんなで行きましょう。

TICA: 仁さんが大事な役で出たのは差し引いてもレギュラーでやっていたときの話の方が好みかな。テロリストが魅力的だった。ビートルズのクリーニング屋も北村有起哉もとてもよかった（北村有起哉って北村和夫の息子さんだそう…）。

尾形さんが不幸にならないようにと祈りながら完結篇を待ちます。

Cacco: テレビでは、堤真一と岡田君との過去の係わりを大軸に、それぞれの事件や岡田君の特殊能力を絡めていく作りになっているが、映画は「みなさんもう知っているでしょ」というような、ストーリー的仕掛けのない、ただのアクション映画になっている。長官を自宅から総理官邸に送り届ける後半のエピソードなどはなぜ助けを呼ばないのか理解に苦しむ。だいたい岡田君狙いの襲撃なのだから岡田君がその場を離ればよかっただけじゃん。ただ岡田君ファンでアクション好きな人には楽しめるかも。お気に入り、直接、物語とは関係ないけれど、ダンプの運転手を演じたダイヤモンドユカイと新人綾野剛。この人これから人気でるんじゃないかなあ。最近人気の香川照之は、いろいろなテレビ、映画に出過ぎ感が。もっと厳選したらと言いたくなる。



《映画クイズ》

堤真一、岡田准一、金城一紀（原作）のトリオは、数年前にもある映画で共演しています。さて、その映画の題名はなんでしょう？

みなさん、応募待ってます！

コンサートレビュー



さだまさし ソロプレミアム in 国技館

コンサート帰りに和さん、Cacco さん組と一杯やることになったのは思いもかけないことだったが、それ以上に私がさだまさしを「まっさん」と呼び、コンサートに行くことの方が驚き。だって拓郎—浜省の路線にさだまさしはけして続くものじゃないし。

いつの頃からか、NHKの「今夜も生でさだまさし」をビーズのお供に聞くようになった。葉書を読んだりお喋りしたりと深夜放送を模している番組で、まさに聞くテレビだった。そして去年の秋。両国の土俵居酒屋で 4 人で飲んでいるときに国技館でやるさだまさしのコンサートの話になった。浜省とは違いみなさんノリのよい反応(-_-;)それじゃあと調べてみたら翌日からチケットの販売開始だった。小さな運命を感じ、4 人分の柵席に 2 人が座るタイプの席を 2 柵取った。

さだまさしに行くなんて次はもうキマロしかないなあとある種の感慨を持って暮れも押し迫った 12 月 28 日国技館へ。席は後ろの方だったが気にしない。顔を見に行くわけじゃなし、柵席に 4 人でぎちぎちに座るより後方の升席で足を延ばして見るほうを選んだ。

知っている曲は「セロ弾きのゴーシュ」と「精霊流し」しかやらなかったが、MC だけのアルバムを出しているさだまさし、さすがに話はうまかった。「バラのかたちの角砂糖」という歌詞に苦情が来た話など、下手な芸人よりずっと面白かった。

土俵の上で一曲ごとに向きを変えて歌う。ズルがないように、順番に。若いころはそういう子供っぽいことは恥ずかしいことだったけれど、これからの人生の中で今日が一番若いというさだまさしの言葉を受けたお客さんたちは、年をとってからの子供っぽさを楽しんでいるようだった。

ただお客さんたち、かなり緩い。時間が経つにつれ、歌を歌っている最中にも関わらず人が右へ左へと移動し、出入り口はなんとなくざわざわしていた。私も体育座りをしてみたり、お土産の座布団を枕に身体を延ばしたり。隣の柵の友達に至っては、すうすう寝息をたてていた（眼をつぶって聴いていただけと否定したが）。

<命、時間、心。誰かの役に立てばと思って自分ではどうにもならない 3 つのことを歌ってきた>

寝ている場合じゃありません。いいこと言うんです、さだまさし。

年が明けてすぐ「年の始めもさだまさし」が名古屋の会場から生放送された。私はいつものスタジオでやるレギュラー番組の方が好き。今週も放送があるので、ビーズのお供に楽しめます。やはり私には、そんな付き合い方がさだまさしとはちょうどよいです。





セイ!ヤング・オールナイトニッポン Are you ready? Oh!

1月29日(土)

16:00-19:30

日本武道館

セイ!ヤングとオールナイトニッポンのコラボ番組が文化放送とニッポン放送でそれぞれ3月までの期間限定で放送されている。その番組のコンサートが二日間に渡り武道館で行われた。九段下の駅は灰色~黒っぽいおじさんお婆さんであふれていた。それもそのはず、この日の武道館のステージに立つ一番の若手は59才。

1月29日【谷村新司のセイ!ヤング&泉谷しげるのオールナイトニッポン
〜天才・秀才・バカヤロー〜】

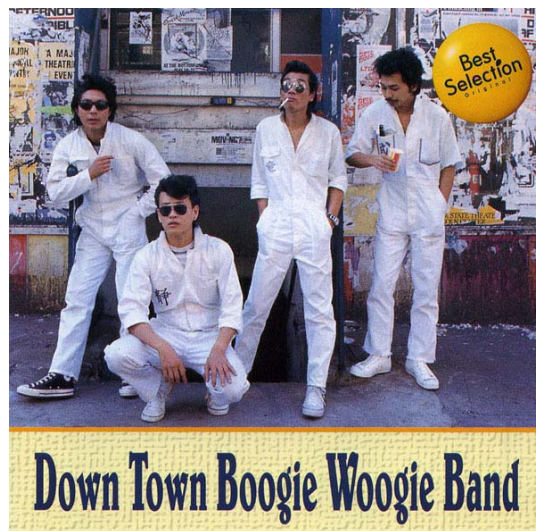
出演:谷村新司、泉谷しげる、ばんばひろふみ、あのねのね、笑福亭鶴光、
ダウントウンブギウギバンド

1月30日【セイ!ヤング・オールナイトニッポンコンサート】

出演:南こうせつ、さだまさし、坂崎幸之助

若かりし、ダウントウン。
干野秀一はまだ入って
いない↓

30日の方が落ち着きがありそうだけれど、ただ券で行ったので日にちを選べなかった。でもダウントウンがいた方でよかった。ちょっと場違い感があったけれどつなぎを着たダウントウン、とてもカッコよかった。「髭の新井武士」の髭も、和田静男のリーゼントも真っ白だった。出演者で最年長64才の竜童さんが一番素敵だった。



Down Town Boogie Woogie Band



遠い昔。19才のとき、初めて楽屋に行
ってサインをもらったのがダウントウ
ンだった。私の名前も書いてくれると
いうので「杉本」と苗字を言ったら「美
紀かエマか?」とからかわれた。
今なら「彩か?」か。……若かったなあ。

…と、しみじみしていたらたった2曲で引込んでしまった。その後、歌の合間に鶴光や谷村新司、ばんばんが舞台の前に出てきて小さなテーブルを置き深夜放送の再現をする。鶴光にはなんの思い出もないが、セイヤングの名物コーナー「天才秀才バカコーナー」は涙が出そうなくらい懐かしかった。



お土産のクリアファイル



「チャンピオン」以前のアリスは好きだったので「遠くで汽笛を聞きながら」「今はもう誰も」を当時のままで歌ったのは嬉しかった。悲しい歌なのに声をあわせてみんなで楽しげに歌う。歌の内容じゃなく、懐かしい昭和を歌っているといった感じ。竜童さんたちも出てきてアリスの曲をセッションした。

そこまではよかったが、谷村新司一人となり、ついに“谷村新司歌謡ショー”が始まった。

「昴」を熱唱、情感たっぷりに「いい日旅立ち」、締めにも全員が出てきて「サライ」。

武道館だから「サライ」？

黄色いシャツ着た誰かが飛び込んで来そうだった(+_+)

翌日のさだまさしたちの締めは「あの素晴らしい愛をもう一度」だったらいい。加藤和彦を泉谷までもが尊敬していたと聞くからこの選曲は納得。これじゃなきや、谷村あ！

拓郎、野沢那智、北山修、つボイノリオ、橋本テツヤ、土居まさる、みのもんた、加藤諦三、落合恵子、白石冬美…。

毎晩誰かしらの番組を聞いていた。

昭和に浸った今夜はいったいどんな夢見るんでしょうか。

※ちなみに、29日深夜の「今夜も生でさだまさし」は加賀からの放送。

30日、大雪で飛行機が飛ばずに車と新幹線を乗り継いで武道館に向かいぎにぎりに到着してぶっつけ本番で臨んだそうです。